

## 2 研究の実際

### (1) 平成 27 年度佐賀県小・中学校学習状況調査 [4 月調査] から見える中学校国語科の課題

佐賀県学習状況調査の結果から見える国語科の課題から、「読むこと」の領域の「自分の考えの形成」に関する指導事項に焦点を当て、解答分析を行いました。

#### 中学校国語科の課題 (平成 26 年度佐賀県小・中学校学習状況調査 Web 報告書より)

文章に表れているものの見方や考え方について、条件に合わせて自分の考えをもつこと

- ・書かれていることを読み取り、筆者の考えに対する自分の考えを書く (2 年生、説明的な文章)
- ・表現の特徴を捉えて自分の考えを書く (1 年生、文学的な文章)



#### 課題解決に向けた授業改善

「読むこと」の領域の「自分の考えの形成」に関する指導事項に焦点を当てた授業改善策を探る



#### 解答分析の視点

自分の考えをもつまでに、どの段階で生徒がつまずいているのかを明らかにする

① 文章を解釈すること

②自分の考えをもつことや考えをまとめること

③考えたことを表現すること

「文章の解釈」…文や文章に書かれた内容を理解し、意味付けること

「自分の考えの形成」…書かれていることを読んで自分の考えをもつこと

(『中学校学習指導要領解説国語編』より)



### ア 解答分析から明らかになったこと

#### (7) 分析結果

「読むこと」の領域において、「文章を解釈すること」「自分の考えをもつことや考えをまとめること」「考えたことを表現すること」という 3 つの段階に着目し、生徒のつまずきの段階を明らかにするために、解答類型を作成し、H27[4 月調査]第 2 学年の以下の問題において、解答の分析を行いました。

- ・設問 $\boxed{5}$ ニ 読むことイ(文章の解釈に関する指導事項)
- ・設問 $\boxed{6}$ ニ 読むことエ(自分の考えの形成に関する指導事項)

※第 1 学年の問題については、「自分の考えの形成」に関する指導事項に相当する設問がなかったため、解答の分析を行いませんでした。

<b>5</b> 二 （説明的な文章）	
「ブリーチ」とは、ザトウクジラのどのような行動のことですか。次の【条件】に合わせて書きなさい。	
【条件】	
○35 字以上 45 字以内で書くこと。	
○「ザトウクジラ～」で書き始め、文末は「～行動」とすること。	
出題の趣旨	文章の中心的な部分と付加的な部分を読み分け、目的に応じて要旨を捉える
問題形式／活用	記述式／「活用」に関する問題

## ○解答類型

問題番号	解答類型	反応率 (%)	正答
<b>5</b> 二	<b>【設問による前提条件】</b> 「ブリーチ」とは、ザトウクジラのどのような行動のことであるかを本文中から読み取り、記述している。 （クジラの「ブリーチ」という行動について、クジラが「海に浮かぶ」様子と「海面に落下する」様子の2点を読み取り、記述する。） <b>【正答の条件】</b> 次の①②の条件をすべて満たしているものを正答とする。 ①文頭、文末が「ザトウクジラ～行動」という書き方になっていること。 ②35 字以上 45 字以内で書いていること。		
	<b>【正答例】</b> ・ザトウクジラの体が海面をつきやぶって空に浮かび、やがて海に着水していく行動 (37 字) ・ザトウクジラの巨体が海面をつきやぶって空に浮かび、やがて海面にむかって落下していく行動 (43 字)		
	1 設問による前提条件、条件①、②を満たして解答しているもの	9.7	◎
	2 設問による前提条件、条件①を満たし、条件②を満たさないで解答しているもの	0.0	
	3 設問による前提条件、条件②を満たし、条件①を満たさないで解答しているもの	1.7	
	4 条件①、②を満たし、設問による前提条件を満たさないで解答しているもの	64.8	
	・「海面に落下する」「空に浮かぶ」のいずれかを記述している。	(22.6)	
	・「ブリーチ」という行動の「目的」に当たる部分を抜き出している。	(42.2)	
5 上記以外の解答	18.2		
0 無解答	5.6		

## ○分析結果と課題

- ・正答率は 9.7%であり、文章の中心的な部分と付加的な部分を読み分け、目的に応じて要旨を捉えることに課題があると考えられます。
- ・解答類型4の反応率は 64.8%でした。これは、設問による前提条件を満たしていない解答です。これらの解答は、要旨となる中心的な部分を正しく読み取ることができなかったものと考えられます。
- ・解答類型5の反応率は 18.2%でした。これらの解答は、正答の条件①②を満たしていない解答です。表記に関して、文頭・文末の書き方、字数の制限の条件があり、読み取ったことに表記上の条件を合わせて解答できなかったものと考えられます。
- ・この設問から、文章全体と部分の関係など、細部の表現に着目して「文章を解釈すること」に課題があることが分かりました。

<b>6</b> 二 （文学的な文章）	
「桜の木が一本もないグラウンドなのに桜ヶ丘中学校。」を朗読する際、どのような読み方がふさわしいと思いますか。次の【条件】に合わせてあなたの考えを書きなさい。	
【条件】	
○次のA、Bから一つ選ぶこと。（どちらを選んでもかまいません。）	
A 全体的に明るく、文末のイントネーションを上げて問いかけるように読む。	
B 全体的にゆっくり落ち着いた感じで、自分自身に言い聞かせるように読む。	
○自分が選んだAまたはBについて、そのような読み方がふさわしいと思う理由を、文章の内容を踏まえて50字以上70字以内で書くこと。	
○文末は、「～伝えるため」とすること。	
出題の趣旨	登場人物の描写に注意して読み、内容を理解し、自分の考えをもつ
問題形式／活用	記述式／「活用」に関する問題

## ○解答類型

問題番号	解答類型	反応率 (%)	正答
<b>6</b> 二	【正答の条件】 次の①、②、③の条件を全て満たしているものを正答とする。 ①文章の内容を踏まえ、AまたはBを選んだ理由を書いていること。 ②50字以上70字以内で書いていること。 ③文末を「～伝えるため」としていること。		
	【正答例（A）】 ・桜ヶ丘中学校という校名なのに、グラウンドには桜の木が一本もないことが意外で、楽しい気持ちになったことを伝えるため。（56字） 【正答例（B）】 ・桜の木が一本もないグラウンドなのに桜ヶ丘中学校かと不思議な気持ちはありながらも、今日からここでごんばろうという内に秘めた思いを伝えるため。（68字） ・桜の木がグラウンドにない桜ヶ丘中学校の名前の面白さ以上に、この学校でサッカーができることを心地よく思っていることを伝えるため。（62字）		
	1 条件①、②、③を満たして解答しているもの	10.4	◎
	2 条件①、②を満たし、条件③を満たさないで解答しているもの	0.3	
	3 条件①、③を満たし、条件②を満たさないで解答しているもの	0.6	
	4 上記以外の解答	66.0	
	・登場人物の心情や行動を根拠に、理由を述べていない	(61.2)	
	・選択した記号と選んだ理由が合っていない (7.0)	(4.8)	
0 無解答	22.7		

## ○分析結果と課題

- ・正答率は10.4%であり、登場人物の描写に注意して読み、内容を理解し、自分の考えをもつことに課題があると考えられます。
- ・解答類型4の反応率は66.0%でした。これは、条件②(字数)、条件③(文末)を満たしているが、条件①(文章の内容を踏まえ、AまたはBを選んだふさわしい理由)を記述することができなかつた解答です。これらの生徒は、登場人物の言葉や行動が、話の展開や作品全体に表れたものの見方などにどのように関わっているかを考えることができなかつたと考えられます。
- ・無解答率が22.7%と高かつたのは、条件で示された二つの読み方と、文章の内容を結び付けられなかつたことに原因があると思われます。

- ・この設問から、情景や人物の描写に着目して「文章を解釈すること」、そして、解釈したことを根拠に、「自分の考えをもつことや考えをまとめること」に課題があることが分かりました。

(4) 課題

**○要旨となる中心的な部分を読み取ること**  
 ⇒ 題意の理解が不十分な解答や、設問の傍線部前後のみを読み、自分の考えをまとめている解答が多く見られました。

**○描写の効果、登場人物の言動の意味を考え、文章に書かれた内容を理解すること**  
 ⇒ 登場人物の言動が、話の展開や作品全体に表れたものの見方などにどのように関わっているかを捉えられていない解答が多く見られました。

(ウ) 身に付けさせたい力

- 表現に着目して文章を読み、文章に書かれた内容を理解する力 …●文章を解釈する力
- 書かれていることを根拠に自分の考えをもつ力 …●自分の考えをもつことや考えをまとめる力
- 考えたことを表現する力

イ 身に付けさせたい力と指導事項との関連

《指導事項》 「文章の解釈」「自分の考えの形成」のみ取り上げています

	第1学年	第2学年	第3学年
文章の解釈	イ 文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見などを読み分け、目的や必要に応じて要約したり要旨をとらえたりすること。 ウ 場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容の理解に役立てること。	イ 文章全体と部分との関係、例示や描写の効果、登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てること。	イ 文章の論理の展開の仕方、場面や登場人物の設定の仕方をとらえ、内容の理解に役立てること。
自分の考えの形成	エ 文章の構成や展開、表現の特徴について、自分の考えをもつこと。 オ 文章に表れているものの見方や考え方をとらえ、自分のものの見方や考え方を広げること。	ウ 文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをまとめること。 エ 文章に表れているものの見方や考え方について、知識や体験と関連付けて自分の考えをもつこと。	ウ 文章を読み比べるなどして、構成や展開、表現の仕方について評価すること。 エ 文章を読んで人間、社会、自然などについて考え、自分の意見をもつこと。

(『中学校学習指導要領解説国語編』より)

## (2) 授業改善策の提案 [自分の考えの形成に関すること]

## ア 課題解決に向けた授業改善のアイデア



※実践事例1、2で指導のポイントを提案しています



## ■ 目的や意図に応じて文章を読ませる指導

## 【実践事例 1、2】

生徒が主体的に学習に取り組むために課題解決的な学習を取り入れます。学習指導要領解説に示されている言語活動例を参考に、さらに具体的な学習課題を設定します。単元の最初に目的となる学習活動を示し、生徒が学習の見通しをもつことができるようにします。

(例) 物語や小説などを読み、作品の見どころとなる表現を引用して、本の推薦をする。

(例) 詩歌や物語などを読み、感想を交流する。

(登場人物の言動の意味を捉え、内容の理解に役立てる)

## ■ 「学習用語」を生かした指導

## 【実践事例 1、2】

指導事項を焦点化し、「学習用語」を意識して授業を組み立てます。文章を読む際の明確な着目点として「学習用語」を取り上げています。この着目点が、文章を読む「具体的な方法」になります。用語の定義や、それに基づいた「具体的な方法」を教師と生徒が共通した認識をもつことを単元の中に位置付けます。また、「学習用語」を繰り返し取り上げることで、学習の系統性を意識した指導につながります。

## ■ 既習教材を生かした指導

## 【実践事例 1、2】

小学校や中学校での既習教材を用いて、学習内容を振り返らせます。その際、単元で取り上げる「学習用語」の共通理解を図ったり、「学習用語」に着目して読む練習を行ったりします。学習課題の提示や学習活動に生かします。

新たに出てきた学習用語と既習の学習用語との関連を明らかにすることで、教材内容の理解や学習用語の定着を目指します。

## ■ 条件設定を明確にした指導

## 【実践事例 2】

文章の内容を読み取ったり、自分の考えをまとめたりするための条件を設定します。前提となる場面設定や視点を捉え、条件に即して書く練習をさせます。条件とは、「字数制限」「文体や文の形式の設定」「自分の立場や根拠を明らかにする」などを指します。それに従い、自分の考えをまとめたり、書いたりする学習場面を日頃の授業で設定することで、思考力・判断力・表現力が高まるように指導します。

## ■ 文章を読む視点を基に、分析的に読ませる指導

## 【実践事例 1、2】

目的や意図に応じて文章を読む手立てとして、文章を読む視点を定めて作品を読ませます。段落や場面で作品を区切って読むのではなく、この視点を基に文章全体を通して分析的に作品を読むことができるように指導を行います。

(例) 「走れメロス」…天候、川の様子、太陽の位置、登場人物の名前などに注目して読む。

## イ 授業実践

学年	単元名	教材名	教科書
1 年	本を推薦するためにPOPを作ろう～描写に着目して読もう～	そこに僕はいた	東京書籍
2 年	カメレオンはだれだ？～人物像に着目して読もう～	カメレオン	東京書籍

研究 1 年次の今年度は、文学的な文章の教材を取り上げました。本年度は東京書籍の教科書のみを取り扱っていますが、課題の解決に向けた授業改善の手立てを示すことで、汎用性のある授業展開案として提案したいと考えています。

「プロジェクト研究」授業改善（中学校国語）研究委員会では、佐賀大学との連携により、達富洋二教授の御助言を受けて、研究を進めています。今年度は、実践した授業について指導・助言を頂き、授業改善策を提案しています。実践事例 1、2 の中に、「課題設定・学習計画」「言語活動の設定」「ふみこんだ課題」「教師の模擬学習（評価規準の設定）」「ふりかえり」について、指導のポイントを書いています。（達富教授の「学びどき・教えどき」参照）

